

# 双葉の園 園だより

第380号 令和 4年 5月 10日 発行

「憲法記念日・こどもの日・沖縄の本土復帰の日」

風薫る5月。

気持ちの良い季節ですから、新緑を見に外に出かけたくなりますね！

家族で楽しい連休を過ごされたことでしょう。

4月に入園されたお子さんたちは、ようやく保育園に慣れてきたところでしたが・・・保育園を居心地よいところだと思っていてくれるでしょうか？ようやく慣れてきたのに・・・長い連休で、子どもたちが保育園や私たちのことを忘れてしまっていないと良いのですが・・・。

さて、5月3日は憲法記念日です。

日本の平和憲法は、戦後間もないころにアメリカ占領軍のGHQによって原案が作られました。作成に加わったのはマッカーサーの幕僚たちですが、戦争前はそれぞれ弁護士や実業家であって才能豊かな将校たちでした。その人たちが、自分の国でさえもできなかったことを実現させようという理想のもとに作り出した憲法です。

日本も憲法の草案を用意していましたが、権利意識もなく、戦争の原因を見ようもしない人達で作ったものでしたから、それが通っていたら戦前と何も変わらない社会になっていたでしょう。

そしてこの憲法草案を説明して戦後の日本には平和が絶対に必要だ、ポツダム宣言を受諾した以上は軍隊を放棄するべきだ、と国会で100回も答弁して、保守派も納得させたのが、憲法担当大臣の金森徳次郎でした。（金森は、双葉の園保育園初代園長・本田早苗が尊敬していた人で、園長夫妻の仲人でありました。）

娘に5月15日は何の日か知っている？と聞いてみたら即座に「菅刈小学校の開校記念日だよ。」そうそう！確かに昔は5月15日は開校記念日でお休みでした。（今はお休みにはならないようですが・・・）

1972年5月15日は、沖縄の本土復帰の日です。

それまでは、沖縄は、アメリカの占領下にありましたから、本土に来るにもパスポートが必要だったそうです。本土復帰の時には日本中が喜びましたが、その数年後に皇太子が、沖縄のひめゆりの塔に慰霊する際に火炎瓶を投げられるという事件が起こりました。幸い誰もケガする人はなく、2人の犯人もその場でつかまりましたが、考えさせられる事件でした。

昭和天皇がヨーロッパ歴訪中にオランダで生卵を車にぶつけられるという事件も起こりました。ドイツとともに第二次世界大戦に参加した日本を見る世界の目は厳しいものがありました。ヨーロッパでは今もまだ、戦争犯罪は追及されていますが、日本は隣国を侵略したことも、戦後の沖縄の事も忘れようとしています。

こういうことを忘れて、反省もなければ、隣国との対話も進みませんし、平和な世の中を作る主役にはなりにくいでしょう。残念！

5月5日はこどもの日でした。

私たちは子どもたちに何を伝えられるでしょうか？

日本国憲法や沖縄のこと、世界の子どものこと、ウクライナの子供たち、ミャンマーでつらい思いをしている人々の事なども、子どもたちの年齢で受け止められる範囲で知ってほしいと思っています。

とはいえ、まずは自分たちの保育園が安心なところだと分かって、自分がみんなから愛されている事を分かってもらいたい。

自分は愛されるために生まれてきたことを分かってもらいたい。

全てはそこから始まる。と私は思っています。



# 5月の予定

12日 いちご組保護者会

13日 トムテのおもちゃで遊ぶ会

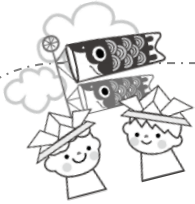
13日 ひかり組保護者会

17日 にじ・ほし組保護者会

19日 はな組保護者会

20日 3歳内科健診

20日 2歳保護者会



## 5がつうまれの おともだち



いちご

にじ

ほし

みかん

はな

りす

うさぎ

こじか

ひかり



## 今月のうた



ひよこ

こいのぼり

てをたたきましょう

とんとんとんとんひげじいさん

にじ

ほし

おもちゃのチャチャチャ

いちご

みかん

もも

おつかいありさん

しゃぼんだま



はな

こいのぼり

さんぽ

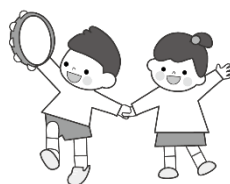
りす

うさぎ

こじか

こいのぼり

雨ふりくまのこ



ひかり

はたけのポルカ

